

学校コード F127310107938

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人桃山学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	B D L オフィス
職名・氏名	カネコ トシヒコ 金子 敏彦
電話番号	06-4708-3561 (内線: 6208)
(夜間)	06-4708-3561 (内線: 6208)
e-mail	bdl-office@andrew.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 大学 学部 学科

(旧名称: 学科(平成 年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「 大学」
- ・学部の設置の場合: 「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「 短期大学 学科」
- ・大学院設置の場合: 「 大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「 大学大学院 研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「 大学大学院 研究科 専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

ビジネスデザイン学部

<ビジネスデザイン学科>	ページ
1．調査対象大学等の概要等	3
2．授業科目の概要	6
3．施設・設備の整備状況、経費	15
4．既設大学等の状況	16
5．教員組織の状況	17
6．附帯事項等に対する履行状況等	28
7．その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人桃山学院

(2) 大学名

桃山学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒545-0011

大阪府大阪市阿倍野区昭和町3-1-57

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	イデタ ゼンソウ 出田 善蔵 (平成28年5月)		
学長	マキノ ニナコ 牧野 丹奈子 (平成28年5月)	ナカノ ミツヒコ 中野 瑞彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、 令和4年4月1日(4)
学部長	キクチ マサヤ 菊地 昌弥 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 (4)

令和5年度に報告する内容 (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学生定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を超えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を超え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 学士(ビジネスデザイン)	経済学関係	4年	200人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	800人		

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和 年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	200	()	200	()	200	()	0.99倍	倍	0.97倍	倍	転学部した4年次生(令和2年度入学生)は除く。
志願者数	()	()	()	()	()	()	1623	()	899	()	769	()					
受験者数	()	()	()	()	()	()	1566	()	872	()	749	()					
合格者数	()	()	()	()	()	()	975	()	763	()	655	()					
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	221	()	202	()	173	()					
入学定員超過率 B/A							1.10		1.01		0.86						

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするとし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際には小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を超えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)」.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際には小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を超えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	本学部は開設3年目であるが、経営学部ビジネスデザイン学科(平成31年4月開設、令和2年度末廃止)の全在籍生を転学部の手続きを経て受け入れた。よって、令和5年度の4年次欄の人数についてはその学生数を記載している。
2年次			()	()	()	()	71	()	221	()	197	()	
3年次					()	()	74	()	70	()	214	()	
4年次							()	()	74	()	77	()	
計	()	()	()	()	()	()	366	()	567	()	661	()	

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・[]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・()内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・編入学や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	366人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	1人	0人	除籍(1人)
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	567人	14人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	2人	0人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	7人	0人	就学意欲の低下(1人)、転学(1人)、家業相続(1人)、除籍(2人)、その他(2人)
			令和4年度	5人	0人	就学意欲の低下(1人)、就職(2人)、経済的困窮(1人)、病気療養(1人)
令和5年度	661人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		15人		15人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

[平成30年度]

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

[令和元年度]

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

[令和2年度]

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

[令和3年度]

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{366} = \boxed{0.27} \%$$

[令和4年度]

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{567} = \boxed{2.46} \%$$

[令和5年度]

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{661} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

< ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 >

(1) - 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			9	3	2				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			7	1					
	PBL応用	2前	4			3	2	3				
	PBL応用	2後	4			5	2	1				
	小計(4科目)		16	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			2	1					
	ビジネスモデル	2前	2					1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			1		1				
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング (選択)	2後	2			1		1				
	デザインシンキング	3前		2				1				
	ビジネスモデル実践	3・4前		2					1			
小計(8科目)		12	4	0	5	2	2	0	0	0		
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2						2			
	ビジネス英語基礎	1後	2			1					1	
	フィールドワーク	2前	2			1		1				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2後	2			1						1
	ビジネス英語応用	2後	2			1						1
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3前	2			1						
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	1					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			2						
	経営戦略	3後	2			1						
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1・2・3・4前		2								1	
プログラム開発	2・3・4前		2			1						
統計・データ分析	2・3・4後		2								1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	3前	2			6	3	3				
	ビジネスデザイン演習 b	3後	2			6	3	3				
	ビジネスデザイン演習	4通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	4前	2			4	2					
	ビジネスデザイン演習 b	4後	2			4	2					
小計(4科目)			8			6	3	3				
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	1	1				1
	PBL入門	1後	4			1	3	1				2
	PBL応用	2前	4			2	0	1				4
	PBL応用	2後	4			2	0	1				4
	小計(4科目)		16			5	3	2				7
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				1
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング (選択)	2前	2			0	2	0				
	デザインシンキング (未開講)	1・2・3・4前		2				0				
	ビジネスモデル実践 (未開講)	3・4前		2					0			
小計(8科目)		12	4	0	4	2	2	0	0	0	2	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2						1			1
	ビジネス英語基礎	1後	2			1						0
	フィールドワーク	2後	2			1			0			
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2			1						1
	ビジネス英語応用	2後	2			1						0
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2			0						1
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			0	1					
	経営戦略	3前	2			1						
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1・2・3・4前		2								1	
プログラム開発	2・3・4前		2				1					
統計・データ分析	2・3・4後		2								1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必履	選履	日由	教	准	講	助	助	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前	2								1
	マーケティング実践	3・4前	2			1					
	アカウントング実践	3・4後	2		1						
	小計(25科目)		36	14	0	7	3	3	0	0	5
ドメイン	(必修)										
	食ビジネスA	1前	2		1						
	食ビジネスB	1後	2		1						
	農ビジネス	1前	2		1						
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2			1					
	健康・スポーツビジネス	1前	2		1						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2		1						
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2		1						
	ITビジネス	1後	2			1					
	(選択必修)										
	ファミリー企業経営	2前	2		1						
	ベンチャー企業経営	2前	2			1					
	社会的企業経営(選択)	2前	2								1
	フードシステム論	2後	2		1						
	店舗マネジメント	2後	2								1
	高齢者と介護	2後	2								1
	食文化論	3前	2		1						
	農産物市場論	3前	2		1						
	子どもの暮らしと社会	3前	2								1
食品産業論	3後	2		1							
健康とスポーツ	3後	2								1	
地域とボランティア	3後	2				1					
小計(20科目)		16	24	0	4	1	2	0	0	兼5	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前	2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4前	2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4前	2								1
	華道・茶道の心	1・2・3・4前	2								2
	映像・メディア	1・2・3・4後	2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4後	2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後	2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後	2			1					
	世界の宗教・人権	1・2・3・4後	2								1
	小計(9科目)		0	18	0	0	1	0	0	0	兼9
インターンシップ	インターンシップ	2通	2				1				
	インターンシップ	3通	2				1				
	小計(2科目)		4	0	0	0	1	0	0	0	
合計(70科目)		92	60	0	9	3	3	0	0	兼19	
卒業要件及び履修方法											
ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必履	選履	日由	教	准	講	助	助	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前	2								1
	マーケティング実践(未開講)	3・4前	2					0			
	アカウントング実践(未開講)	3・4後	2		0						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0	7
ドメイン	(必修)										
	食ビジネスA	1前	2		2			1			
	食ビジネスB	1後	2		3						
	農ビジネス	1前	2		2			1			
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2		1			1			1
	健康・スポーツビジネス	1前	2		2						1
	アパレル・住居ビジネス	1後	2		1			1			1
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2		0			2			1
	ITビジネス	1後	2					0	1		2
	(選択必修)										
	ファミリー企業経営	2後	2		0		1				
	ベンチャー企業経営	2前	2					1			
	社会的企業経営(選択)	2前	2								1
	フードシステム論	2後	2			1					
	店舗マネジメント	2後	2								1
	高齢者と介護	2後	2								1
	食文化論	3前	2		0						1
	農産物市場論	3前	2		0						1
	子どもの暮らしと社会	3後	2								1
食品産業論	3後	2		0						1	
健康とスポーツ	3後	2								1	
地域とボランティア	3後	2						1			
小計(20科目)		16	24	0	5	1	3	0	0	11	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前	2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4前	2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4前	2								3
	華道・茶道の心	1・2・3・4前	2								2
	日本を知る	1後	2								1
	映像・メディア	1・2・3・4後	2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4後	2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4後	2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4後	2					1			
	データサイエンス入門	1前	2								1
世界の宗教・人権	1・2・3・4後	2								1	
大阪を知る	1・2・3・4後	2								1	
教養文化A特選(異業・企画・支援実践)	2・3・4前	2			1						
教養文化B特選(A&Sケアビジネスと介護)	1・2・3・4後	2								1	
海外研修	1・2・3・4後	1~4									
国内研修	1・2・3・4後	1~4									
小計(16科目)		0	30~36	0	1	1	0	0	0	15	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2			1	1	1			
	インターンシップ	3後	2			2	1	0			
	小計(2科目)		4	0	0	3	1	1	0	0	0
合計(79科目)		92	72~78	0	7	3	3	0	0	36	
卒業要件及び履修方法											
ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))											

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			3	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	8	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			5	1	3				
	PBL応用	2前	4			2	1	1				
	PBL応用	2後	4			2	2	0				
	小計(4科目)		16	0	0	6	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2後	2			0		1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				
	問題解決法	2後	2			1						
	ロジカルシンキング(選択)	2前	2			0	1	0				
	デザインシンキング	3後	2		2							兼1
	ビジネスモデル実践	3・4前	2		2			1				
小計(8科目)		12	4	0	3	2	2	0	0		兼1	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2			1		1				
	ビジネス英語基礎	1後	2			1		1				兼0
	フィールドワーク	2後	2			1		0				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジー・イノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2			1						兼1
	ビジネス英語応用	2後	2			0						兼1
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2									兼1
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			0						兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			0	1					
経営戦略(選択必修)	3前	2			1							
仕事で使う数学	1・2・3・4前	2		2							兼1	
プログラム開発	2・3・4前	2		2			1					
統計・データ分析	2・3・4後	2		2							兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後	2		2							兼1	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前	2									兼1
	マーケティング実践	3・4後	2			1		0				
	アカウンティング実践	3・4後	2			1						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0		兼7

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			4	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			3	2	0				
	小計(2科目)		8	0	0	4	2	0	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			2	3	2				
	PBL入門	1後	4			2	3	2				
	PBL応用	2前	4			2	0	1				兼4
	PBL応用	2後	4			2	0	1				兼4
	小計(4科目)		16	0	0	4	3	3	0	0		兼8
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				兼1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				兼1
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング(選択)	2前	2			0	1	1				
	デザインシンキング	3後	2		2			0				兼1
	ビジネスモデル実践(未開講)	3・4前	2		2			0				
小計(8科目)		12	4	0	4	1	2	0	0		兼3	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2			1		1				
	ビジネス英語基礎	1後	2			1		1				兼0
	フィールドワーク	2後	2			1		0				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジー・イノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2			1						兼0
	ビジネス英語応用	2後	2			1		1				兼0
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2			0						兼1
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			0	1					
経営戦略(選択必修)	3前	2			1							
仕事で使う数学	1・2・3・4前	2		2							兼1	
プログラム開発	2・3・4前	2		2			1					
統計・データ分析	2・3・4後	2		2							兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後	2		2							兼1	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前	2									兼1
	マーケティング実践	3・4後	2					0				
	アカウンティング実践(未開講)	3・4後	2					0				
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0		兼5

	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2		1							
	食ビジネスB	1後	2		1							
	農ビジネス	1前	2		1							
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2				1					
	健康・スポーツビジネス	1前	2		1							
	アパレル・住居ビジネス	1後	2		0		1					
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2		1							
	ITビジネス	1後	2		1	0						
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前	2	2	1							
	ベンチャー企業経営	2前	2	2			1					
	社会的企業経営 (選択)	2前	2	2							兼1	
	フードシステム論	2後	2	2	1							
	店舗マネジメント	2後	2	2							兼1	
	高齢者と介護	2後	2	2							兼1	
	食文化論	3前	2	2	0						兼1	
	農産物市場論	3前	2	2	0						兼1	
	子どもの暮らしと社会	3後	2	2							兼1	
	食品産業論	3後	2	2	0						兼1	
健康とスポーツ	3後	2	2							兼1		
地域とボランティア	3後	2	2				1					
小計(20科目)			16	24	0	4	0	3	0	0	兼7	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4期		2								兼1
	イラスト・絵画	1・2・3・4期		2								兼1
	将棋・囲碁	1・2・3・4期		2								兼2
	華道・茶道の心	1・2・3・4期		2								兼2
	日本を知る	1後	2	2								兼1
	映像・メディア	1・2・3・4期		2								兼1
	演劇・朗読	1・2・3・4期		2								兼1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4期		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4期		2			1					
	データサイエンス入門	1前	2	2								兼1
	世界の宗教・人権	1・2・3・4期		2								兼1
小計(11科目)			0	22	0	0	1	0	0	0	兼12	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2		1	0						
	インターンシップ	3後	2			1	0					
	小計(2科目)		4	0	0	1	1	0	0	0	0	
合計(72科目)			92	64	0	7	3	3	0	0	兼27	
卒業要件及び履修方法												
ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))												

	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2						兼1
	食ビジネスB	1後	2			2						兼1
	農ビジネス	1前	2			2		1				
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2						2			兼1
	健康・スポーツビジネス	1前	2						3			
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1	1	1				
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						兼2
	ITビジネス	1後	2			1	0	1				兼1
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前	2	2	1							
	ベンチャー企業経営	2前	2	2						1		
	社会的企業経営 (選択)	2前	2	2								兼1
	フードシステム論	2後	2	2	1							
	店舗マネジメント	2後	2	2								兼1
	高齢者と介護	2後	2	2								兼1
	食文化論	3前	2	2	0							兼1
	農産物市場論	3前	2	2	0							兼1
	子どもの暮らしと社会	3後	2	2								兼1
	食品産業論	3後	2	2	0							兼1
健康とスポーツ	3後	2	2								兼1	
地域とボランティア	3後	2	2						1			
小計(20科目)			16	24	0	4	1	3	0	0	兼14	
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4期		2								兼1
	イラスト・絵画	1・2・3・4期		2								兼1
	将棋・囲碁	1・2・3・4期		2								兼2
	華道・茶道の心	1・2・3・4期		2								兼2
	日本を知る	1後	2	2								兼1
	映像・メディア	1・2・3・4期		2								兼1
	演劇・朗読	1・2・3・4期		2								兼1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4期		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4期		2			1					
	データサイエンス入門	1前	2	2								兼1
	世界の宗教・人権	1・2・3・4期		2								兼1
小計(11科目)			0	22	0	0	1	0	0	0	兼12	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2			1	1	1				
	インターンシップ	3後	2			2	1	0				
	小計(2科目)		4	0	0	3	2	1	0	0	0	
合計(72科目)			92	64	0	7	3	3	0	0	兼29	
卒業要件及び履修方法												
ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))												

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【 】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) - 授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授5・准教授1・講師3」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「問題解決法」の教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスの社会性」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「マーケティング実践」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「デザインシンキング」「フィールドワーク」「ビジネスと法」「マーケティング実践」「子どもの暮らしと社会」の配当年次を「前期」から「後期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「ロジカルシンキング」「アカウンティング」「経営戦略」の配当年次を「後期」から「前期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「インターンシップ」「インターンシップ」の配当年次を「通年」から「後期」に変更。
- ・教育内容充実のため、「日本を知る」の授業科目を新設。
- ・教育内容充実のため、「データサイエンス入門」の授業科目を新設。

【令和4年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授4・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師1・兼任講師4」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「講師2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授2・准教授1」に変更。

【令和5年度】

- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授6・准教授3・講師3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授4・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授4・准教授1・講師1・兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授1・准教授3・講師1・兼任講師1・兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ロジカルシンキング」の教員を「教授1・講師1」から「准教授2」に変更。
- ・「ロジカルシンキング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員を「講師2」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・「フィールドワーク」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「アカウンティング」の教員を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・「アカウンティング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「ビジネスと法」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「経営戦略」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「講師1・兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「ファミリー企業経営」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「ファミリー企業経営」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「子どもの暮らしと社会」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・新規科目として、「日本を知る」「データサイエンス入門」「大阪を知る」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化B特講(ヘルスケアビジネスと介護)」を追加。

- (注) ・ 2(1)ー 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	30 科目	0 科目	70 科目	42 科目 [2]	37 科目 [7]	0 科目 []	79 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： -1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ビジネスデザイン演習	4	3通		必修	単位分割のため、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」を新設。
2	ビジネスデザイン演習	4	4通		必修	単位分割のため、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」を新設。
3						
4						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

通期科目である「ビジネスデザイン演習」「ビジネスデザイン演習」を、学生への成績評価とそのフィードバックを効率よく実施するため、それぞれ半期科目に分割した。
学生への周知は、授業管理システムを通じて、履修登録時に在学生全員へ連絡。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{70} = \boxed{2.85} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 < 共用する他の学校 > 眉山学院高等学校（収容定員 2,200名）基準面積（運動場とし て）8,400㎡（中学校との共用 可）					
	校舎敷地	85,862㎡	1,155.30㎡	13,699.7㎡	100,717㎡						
	運動場用地	84,176㎡	0㎡	11,540㎡	95,716㎡						
	小 計	170,038㎡	1,155.30㎡	25,239.7㎡	196,433㎡						
	そ の 他	14,405㎡ 44,402㎡ 44,405㎡	0㎡	0㎡	14,402㎡ 44,405㎡						
合 計	184,443㎡ 184,440㎡ 184,443㎡	1,155.30㎡	25,239.7㎡	210,835㎡ 210,838㎡	眉山学院中学校（収容定員360 名）基準面積（運動場として） 4,600㎡						
(2) 校 舎	専 用	61,828.5㎡ 62,842.2㎡ 61,915.4㎡	0㎡	0㎡	61,828.5㎡ 62,842.2㎡ 61,915.4㎡	大学全体 新校舎完成まで教場として償還し ていたビル1フロアを令和4年12 月末で契約終了したため(5) 新校舎完成まで教場として償還し ていたビル1フロアを令和2年12 月末で契約終了することになっ ていたが、継続して償還すること になったため。また、建築基準法に よる面積から登記簿面積とした ため。(3)					
	(61,828.5㎡) (62,842.28㎡) (61,915.4㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(61,828.5㎡) (62,842.28㎡) (61,915.4㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	76室 74室	演 習 室	51室	実験実習室	8室	情報処理学習施設	9室	語学学習施設	2室	大学全体 新校舎完成まで教場として償還し ていたビル1フロアを令和2年12 月末で契約終了することになっ ていたが、継続して償還すること になったため。(3)
	(補助職員 7人 6人)	(補助職員 0人)									
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数						
		ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科			16 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		(うち外国書)	(うち外国書)	電子ジャーナル							
		冊	種	(うち外国書)	点	点	点				
	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	741,431 [232,607] 741,226 [232,224] 738,565 [231,341] 738,266 [231,341]	7,326 [2,292] 7,398 [2,289] 7,846 [2,289] 7,856 [2,294]	4,909 [4,907] 4,842 [4,838] 4,636 [4,634] 4,636 [4,634]	39,924 39,831 39,848 39,844	17,444 17,314 16,870 15,339	1				
計	(741,431 [232,607]) (741,226 [232,224]) (738,565 [231,341]) (738,266 [231,341])	(7,326 [2,292]) (7,398 [2,289]) (7,846 [2,289]) (7,856 [2,294])	(4,909 [4,907]) (4,842 [4,838]) (4,636 [4,634]) (4,636 [4,634])	(39,924) (39,831) (39,848) (39,844)	(17,444) (17,314) (16,870) (15,339)	(1)	学部単位での特定不能の ため、大学全体				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	8,673㎡		728席 737席 724席		886,389		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	11,966.42㎡		テニスコート		和弓場、洋弓場		大学全体				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	共同研究費：大学全体			
		教員1人当り研究費等	495千円	495千円	図書購入費	7,037千円	7,037千円	7,037千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。		
	共同研究費等	9,584千円	9,584千円	設備購入費	80,555千円	18,690千円	18,690千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,259千円 1,499千円	1,029千円 969千円	1,029千円 969千円	1,029千円 969千円	1,029千円 969千円	-千円	-千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、雑収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		桃山学院大学					平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
国際教養学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	倍	倍	年度	年度	-		
英語・国際文化学科	4	275	-	1,100	学士(国際教養学)	0.96	-	0.97	-	平成20	平成20	大阪府和泉市まなび野1-1		
社会学部					-							-		
社会学科	4	260	-	1,040	学士(社会学)	1.07	-	1.09	1.06	昭和41	昭和41	大阪府和泉市まなび野1-1		
ソーシャルデザイン学科	4	100	-	400	学士(社会福祉学)	0.92	-	0.96	-	平成10	平成10	大阪府和泉市まなび野1-1	令和4年度学科名称変更	
法学部					-							-		
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.00	-	1.02	0.99	平成14	平成14	大阪府和泉市まなび野1-1		
経済学部					-							-		
経済学科	4	360	-	1,440	学士(経済学)	1.04	-	1.05	1.02	昭和34	昭和34	大阪府和泉市まなび野1-1		
経営学部					-							-		
経営学科	4	295	-	1,110	学士(経営学)	1.12	-	1.10	1.07	令和3	昭和48	大阪府和泉市まなび野1-1	令和3年度入学定員変更(70)	
ビジネスデザイン学部					-					令和3		-		
ビジネスデザイン学科	4	200	-	600	学士(ビジネスデザイン)	0.99	-	0.97	-	令和3	令和3	大阪府大阪市 阿倍野区昭和町3-1-57	学部の設置(届出) 令和2年度末経営学部 ビジネスデザイン学科(入学定員70)を 廃止し、同時に同学科在籍者全員を ビジネスデザイン学部に転学部。 変更後令和5年度入学定員詳細下記。 1年次: 200 2年次: 200 3年次: 200 4年次: 70 (経営学部ビジネスデザイン学科よ り転学部)	
大学全体	4	1,690	-	6,490	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。

- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)」33収容定員の充足状況をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
- ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) - 担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・令和3年3月浅田孝幸教授の就任辞退（未就任）。
- ・金澤ますみ准教授（兼担）就任辞退により、李慶姫講師に変更。
- ・竹内靖子准教授（兼担）就任辞退により、水流寛二講師に変更。
- ・田岡敬造講師の辞退により、岡井加女代講師に変更。
- ・大橋成哉講師就任。
- ・毛利八郎講師の辞退により、加藤康裕講師に変更。
- ・大川清植教授（兼担）就任。
- ・大田靖准教授（兼担）就任。
- ・湯峯裕講師就任。
- ・白井信雄講師就任。
- ・岸上光克講師就任。
- ・佐藤敦信講師就任。
- ・松波晴人講師就任。

【令和4年度】

- ・令和3年3月浅田孝幸教授の就任辞退。
- ・境真理子教授定年退職制度に伴い退職。
- ・金澤ますみ准教授（兼担）から、李慶姫講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・竹内靖子准教授（兼担）から、水流寛二講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・山口絵美菜講師から長谷川優貴講師、藤井奈々講師へ変更。
- ・大橋成哉講師就任。（令和3年度より継続）
- ・毛利八郎講師から、加藤康裕講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・濱島敦博講師就任。
- ・湯峯裕講師就任。（令和3年度より継続）
- ・岸上光克講師就任。（令和3年度より継続）
- ・佐藤敦信講師就任。（令和3年度より継続）
- ・松波晴人講師就任。（令和3年度より継続）
- ・井上朋宏講師就任。
- ・藤井暢人講師就任。
- ・喜始照宣講師就任。
- ・藤城克也講師就任。
- ・橋本かおり講師就任。
- ・角谷嘉則教授（兼担）就任。
- ・中村恒彦教授（兼担）就任。
- ・志賀谷太佑講師就任。
- ・竹中千恵講師就任。
- ・境真理子教授（兼担）から塩崎祥平講師に変更。
- ・村橋功准教授（兼担）から石井亨宏講師に変更。

【令和5年度】

- ・令和3年3月浅田孝幸教授の就任辞退。
- ・令和5年3月朴大栄教授は契約満了。
- ・境真理子教授から、潮崎祥平講師に変更。
- ・令和5年4月濱島敦博講師が教授就任。
- ・村橋功准教授（兼担）から、濱島淑恵講師へ変更。
- ・金澤ますみ准教授（兼担）から、李慶姫講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・竹内靖子准教授（兼担）から、水流寛二講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・中村光三講師から、滝澤篤講師へ変更。
- ・山口絵美菜講師から長谷川優貴講師、藤井奈々講師へ変更。（令和4年度より継続）
- ・大橋成哉講師就任。（令和3年度より継続）
- ・毛利八郎講師から、加藤康裕講師に変更。（令和3年度より継続）
- ・大川清植教授（兼担）から藤原亮介講師へ変更。
- ・濱島敦博講師から、大田靖教授（兼担）へ変更。
- ・湯峯裕講師就任。（令和3年度より継続）
- ・岸上光克講師就任。（令和3年度より継続）
- ・佐藤敦信講師就任。（令和3年度より継続）
- ・井上朋宏講師就任。（令和4年度より継続）
- ・藤井暢人講師就任。（令和4年度より継続）
- ・喜始照宣講師就任。（令和4年度より継続）
- ・藤城克也講師就任。（令和4年度より継続）
- ・橋本かおり講師就任。（令和4年度より継続）
- ・中村恒彦教授（兼担）就任。（令和4年度より継続）
- ・石井亨宏講師就任。（令和4年度より継続）
- ・湯澤真講師就任。
- ・橋場由見子講師就任。
- ・中野瑞彦教授就任（兼担）。

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授職等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)- 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)- 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	3	3	0	15	0	8	3	3	0	14	0
(8)	(3)	(3)	(0)	(14)	0						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	3	3	0	14	0	11	5	3	0	19	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[4]	[0]

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) - 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{15} = \boxed{93.33} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	浅田 孝幸	R2.9	必修	ビジネスデザイン演習		R3.4に就任予定（経営学部ビジネスデザイン学科より移籍）であったが、一身上の都合によりR2.9末に退職したため、未就任となった。						
				必修	PBL入門								
				必修	PBL入門								
				必修	ビジネスリーダーシップ								
				必修	プロジェクトマネジメント								
				必修	アパレル・住居ビジネス								
				選択	ファミリー企業経営								
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		の合計数（a）		の合計数（b）		の合計数（c）					
1	人	必修	6	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」

(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	朴 大栄	必修	アカウンティング		契約満了に伴う退職 (令和5年度報告)						
			必修	ビジネスと法								
			必修	食ビジネスA								
			必修	健康・スポーツビジネス								
			必修	食ビジネスB								
			必修	アパレル・住居ビジネス								
			必修	まちづくり・観光ビジネス								
			必修	農ビジネス								
			選択	ファミリー企業経営								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		の合計数（a）		の合計数（b）		の合計数（c）				
1	人	必修	9	科目	必修	5	科目	必修	4	科目	必修	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目		
		計	10	科目	計	6	科目	計	4	科目	計	0

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」

(3) - 上記(3) - ・ (3) - の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)			
2	人	必修	15 科目	必修	10 科目	必修	4 科目	必修	1 科目		
		選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	18 科目	計	13 科目	計	4 科目	計	1 科目		

(3) - 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{15} = \boxed{13.33} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注)・ (3) - 、(3) - で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) - 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)	
人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「 」
・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
退職した教員交代に伴い専任教員を1名採用し、授業運営等問題なく行うことができている。
「学生への周知方法」
担当教員が前年度授業内にて口頭で連絡、および新年度にclassroomにて時間割表を掲出し担当教員を記載した。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和2年)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	【届出】 遵守事項 本学部のカリキュラムには体育は含まれておらず教育への支障はない。また授業は基本的に5限目（終了時刻17時50分）までで編成されており、学生は和泉キャンパスで行われる課外活動にも参加可能である。課外活動の情報は、学生生活全般のガイドブック「Campus Guide」で案内しているほか、オフィスに担当者も配置し相談・サポート体制を整えている。	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度) (令和5年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

< ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	-

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

実施体制

a 委員会の設置状況

桃山学院大学に、全学ファカルティ・ディベロップメント(教育活動の質的向上・発展に関して組織的かつ恒常的に行う活動をいう。以下「FD」という。)推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。
(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第1条)

委員会は、学部・研究科および学内諸組織が行うFDを支援するとともに、全学的かつ恒常的にFDの検討を行い、その質的充実を図ることを目的とする。
(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第2条)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

委員長は副学長が務め、委員は各学部教授会と共通教育機構から選出された教員(各1名)、その他委員長が認めた者により構成され、月1回程度実施している。

c 委員会の審議事項等

1. 教育活動の質的向上に向けた施策の検討と推進
 2. 学生の学習能力の育成、学習支援に関わる施策の検討と推進
 3. 講演会および研修会等の企画立案
 4. 学部・研究科および学内諸組織が行うFDに対する支援
 5. 他大学等のFDに関する資料、セミナー等の情報の収集と学内諸組織への提供
 6. 各年度における本学FDの総括的把握と検討
 7. その他FDの推進に必要な事項
- (全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第5条)

実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケートの実施
- ・SA・TA制度の運用
- ・全学FD研修会の開催
- ・FD NEWSの発行 他

b 実施方法

授業評価アンケートは、各学期に実施期間を決め、対象科目の授業時間内に実施している。本学部では、既設の学部とキャンパスや教育課程が異なるので別途アンケートを作成し調査を行っている。

また、本学部ではLA(ラーニングアシスタント)制度を一部科目で運用している。LA学生は授業前後に担当教員と当日の授業においてあるべきゴール、スタイルのイメージや、その実現に向けての要望を伝え、話し合うようしている。

また学期期間中には、学部会議を原則毎週実施しており、授業上の工夫などについて情報交換を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

授業アンケートは、全科目で専任・兼任問わず各学期実施している。

LA学生については、特に本学部の中心科目であるPBL科目について、毎週授業後に全体ミーティングを実施し、担当教員全員とLA全員が参加して、振り返りと次週の授業についての打ち合わせを行うなどし、授業の質向上を図っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に、本学部所属の教員全員で共有している。またアンケート結果を共有し、FD活動をおこなっている。各教員が授業で工夫している点等について報告をおこない、その報告に対して質疑応答を実施し、各教員が授業改善に取り組んでいる。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期実施

2022年度実施期間 春学期：2022（令和4）年 7月19日（火）～ 7月29日（金）

秋学期：2023（令和5）年 1月24日（火）～ 1月31日（火）

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に本学部所属の教員全員で共有している。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科は、経営学部ビジネスデザイン学科を基礎としながら、次に記載する人材の育成が求められていると認識し、「ビジネスデザインの理論と実際について研究、教授し、国際社会に活躍し得る人材の育成」を教育目標および人材養成の目的とし、2021（令和3）年4月に設置された。

・「Society 5.0」を牽引するために必要となる幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、新たなビジネスを創造することにより社会課題を解決できる人材

教育課程については教育内容の充実を図るために、一部授業科目を新設し、移行期を除く授業科目についてはすべて開講・実施している。教員組織については教授1名の未就任があったものの、その他の教員（教授・准教授・講師・兼任や兼任）を配置し、概ね計画通り段階的に編成・維持している。実践、実技、実習科目においては、複数の実務家教員を配置し、70を超える企業・行政・団体の企業人と共に学ぶ問題解決型学習（PBL）を実践している。入学者選抜は計画どおり実施し、2021（令和3）年度入学者は221名、2022（令和4）年度入学者は202名、2023年（令和5）年度入学者は173名であった。施設・設備等については、当初の予定通りあべのキャンパス（大阪市阿倍野区昭和町3-1-57）で授業を実施している。

以上のことから、現時点において一部教員組織の計画変更があったものの、達成状況は概ね良好である。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2022（令和4）年4月19日 公表済

b 公表方法

記入例)

- ・大学Webサイト上に公表済 <https://www.andrew.ac.jp/info/accredited.html>

認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2029（令和11）年3月31日までとする。」との結果を受けた。次回は、令和10年度に受審することを予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

aで「有」の場合

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他()]

aで公表「無」の場合

d 公表しない理由 []

設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。